

引込鑿幕明

定

寛政十一



六丁特
2946
145

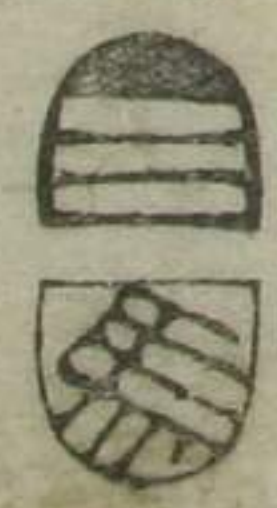
序

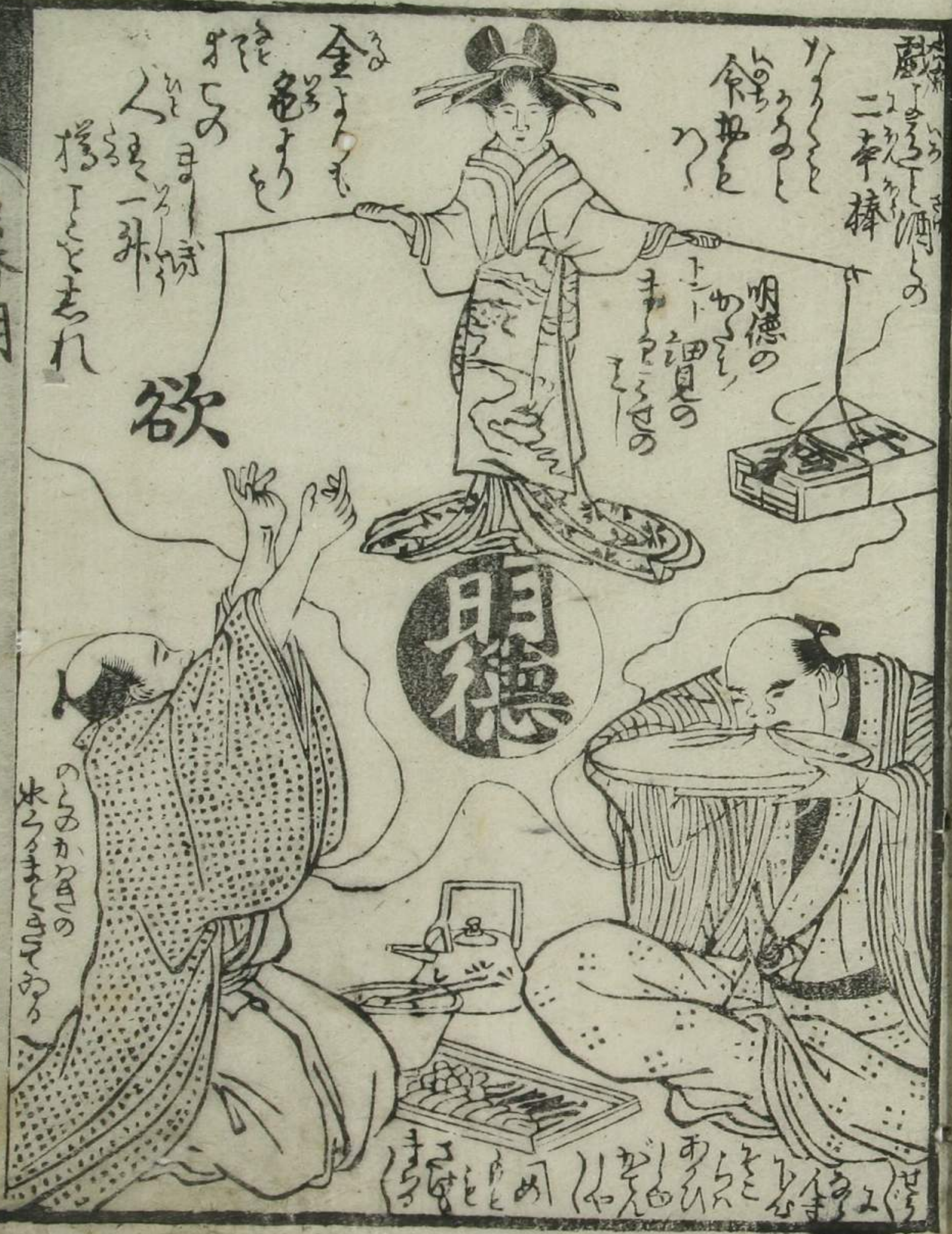
嘗聞荀子性惡孟子性善其確言也
 腹乃底也其處一穴梳色の表紙ふらん
 陳奮漢文屈の如く新唐古唐唐本其論
 等々一々関山也其是聖賢の志快人喜
 裏表余此後一不圖原く忽然一固乃旨
 案下悪と認く人の心と即善也引返
 と題して其心學者流の茶碗の端と擲く夏雨

于皆寛政己未春

於囉囉哩樓

式亭三馬題





不孝

異説曰孝の初めあり
身を賣るるを孝と見せしむ
故に孝家と云ふは世の
放蕩家と云ふは世の

「孝の初めあり」といふは
唐の著しき書に孝経を
唐人の縁でしる書を
孝の初めありといふ

笑話曰

「孝の初めあり」といふは
唐の著しき書に孝経を
唐人の縁でしる書を
孝の初めありといふ



母の
まごころを思ひのまごころ
をこころと云ふは
親をまごころと云ふ
は孝の初めありといふ



「孝の初めあり」といふは
唐の著しき書に孝経を
唐人の縁でしる書を
孝の初めありといふ

「孝の初めあり」といふは
唐の著しき書に孝経を
唐人の縁でしる書を
孝の初めありといふ

不忠しつとまを
 不忠と下つて
 そのかゝる
 コヤこまゝに
 おのまゝに
 借金
 火のあられ
 けつ
 あつて人の
 りつ
 不忠の標
 うけ
 親のま
 めり
 まや
 あり



不貞
 この世に
 あつて
 おのまゝ
 借金
 火のあられ
 けつ
 あつて人の
 りつ
 不忠の標
 うけ
 親のま
 めり
 まや
 あり

不忠

ついでに
 その
 不忠
 この世に
 あつて
 おのまゝ
 借金
 火のあられ
 けつ
 あつて人の
 りつ
 不忠の標
 うけ
 親のま
 めり
 まや
 あり



不忠
 この世に
 あつて
 おのまゝ
 借金
 火のあられ
 けつ
 あつて人の
 りつ
 不忠の標
 うけ
 親のま
 めり
 まや
 あり

幕中
 不忠
 この世に
 あつて
 おのまゝ
 借金
 火のあられ
 けつ
 あつて人の
 りつ
 不忠の標
 うけ
 親のま
 めり
 まや
 あり

新作多し、要素とて極めり、各
ふりし、有、追、く、ん、り、を、手、り、て
山、之、笑、の、身、呈、即、左、の、通、を

三馬戲作

夫、南、木、
是、嘔、氣、
使、太、平、記、向、鉢、卷、三

芝、全、文、寺、
戲、作、開、帳、
空、如、來、万、八、緣、起、三

心、教、言、
悟、段、續、
引、返、譬、言、幕、開、三

世、話、半、
時、代、哉、
牙、茶、拵、押、兵、三

略、画、
傳、授、
燕、學、子、馬、鹿、式、折、本

式、亭、
增、補、
紅、破、盤、南、京、燒、纏、三

草、莊、子、
五、牒、夢、
式、亭、三、馬、樂、日、記、三

芝、全、文、寺、
戲、作、開、帳、
空、如、來、万、八、緣、起、三
世、話、半、
時、代、哉、
牙、茶、拵、押、兵、三
式、亭、
增、補、
紅、破、盤、南、京、燒、纏、三
草、莊、子、
五、牒、夢、
式、亭、三、馬、樂、日、記、三
略、画、
傳、授、
燕、學、子、馬、鹿、式、折、本
心、教、言、
悟、段、續、
引、返、譬、言、幕、開、三
夫、南、木、
是、嘔、氣、
使、太、平、記、向、鉢、卷、三
新、作、多、し、要、素、と、て、極、め、り、各
ふ、り、し、有、追、く、ん、り、を、手、り、て
山、之、笑、の、身、呈、即、左、の、通、を

